

がんばろう日本

～亀岡市は東日本の復興を支援します～

December.2014

広報No.620

キラリ 亀岡

■亀岡市の人口と世帯数

	平成26年 11月25日現在	平成25年 11月20日現在
人口	91,629人	92,170人
内男	44,650人	44,970人
訳女	46,979人	47,200人
世帯数	38,001世帯	37,758世帯


主な内容

- 1ページ 誰もが自分らしく生きるために
- 2・5ページ 皆さんと一緒に振り返る2014年
- 3ページ インターナショナルセーフスクール事前審査～安全・安心な学び舎を目指して～
- 4ページ 献身的な功労に感謝の意を込めて
- 6ページ 自然エネルギーについて考えよう! など

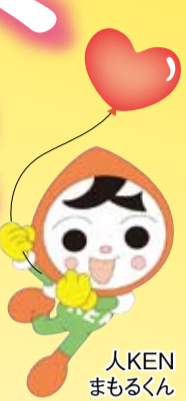
編集発行:亀岡市企画管理部秘書広報課/〒621-8501 亀岡市安町野々神8番地/☎0771-22-3131(代)☎0771-24-5501
ホームページ: http://www.city.kameoka.kyoto.jp 携帯版ホームページ: http://www.city.kameoka.kyoto.jp/m/ 電子メール: office@city.kameoka.kyoto.jp

誰もが自分らしく 生きるために

12月4日～10日は第66回人権週間です。すべての人が幸せに生きる権利である人権は、私たち一人ひとりの生命や自由・平等を保障し、日常生活を支えている大切な権利です。身近にある「人権」について今一度考えてみましょう。



ありがとうございますのこころを込めたメッセージと手形でつくった人権の木



人KEN まるくん

「ありがとうございます」のこころを込めたメッセージと手形でつくった人権の木に、たくさんの「ありがとう」の気持ちを込めて描かれています。

人権擁護委員コーナーには、ハート形の風船のプレゼントとともに、人権啓発キャラクター「人KEN まるくん」が迎える中、多くの人が訪れ、「ありがとう」の思いを込めて書いたハート形のメッセージカードと手形を押してつくる「人権の木」に、たくさんの「ありがとう」の気持ちの花を咲かせていました。

11月16日、ガレリアかめおかで生涯学習人権啓発事業「ヒューマンフェスタ2014」を開催しました。今年のテーマは「ありがとうのこころ」。会場では人権や平和に関する展示、南桑中学校吹奏楽部による演奏、FMラジオα、ステーションのDJらと京都サンガF.C普及部長の池上正さんとサッカークラスを通じて考える子どもの人権についてのトークショーなどのほか、人権アニメ映画の上映やふれあい動物園に子どもたちも楽しく参加していました。

「ありがとうのこころ」



亀岡市では、人と人とのつながりや男女共同参画など、さまざまな視点から、一人ひとりがかけがえない存在として、すべての人が幸せに生きるための「人権」について考える取り組みを、市民の皆さんと協働で進めています。

人権について考える取り組み



同日、ガレリアかめおかでは性別・世代などを問わず、誰もが自分らしく生きられるまち・亀岡を目指し、男女共同参画推進事業「ゆう・あいフォーラム2014」を開催しました。このフォーラムは、企画運営委員を務める市民の皆さんとの協働で行われたものです。12のワークショップの他に、手話コーラスやジェンダーコントなども行われました。前尼崎市長の白井文さんが「女性の力を社会に」と題して行った講演で、由緒と題して行った講演では、「不祥事への怒りから自分が選挙に出る決意をし、母が背中を押してくれました。特別な知識はなくても、自分だから」と題して行った講演では、「誰かが自分らしく生きるために、一人ひとりがお互いの違いを認め、人権を尊重しなければなりません。そのためにも、「人権」について、皆さんも身近な視点から考えてみませんか。」

性別にとらわれず自分らしく

「ありがとう」は、相手のことを思ったときに湧いてくる気持ちであり、伝え合うことでお互いに尊重し合える豊かな人間関係を育むことにつながります。皆さんも「ありがとう」の気持ちを言葉や表情、態度などで相手に伝えてみましょう。

「ありがとう」は、相手のことを思ったときに湧いてくる気持ちであり、伝え合うことでお互いに尊重し合える豊かな人間関係を育むことにつながります。皆さんも「ありがとう」の気持ちを言葉や表情、態度などで相手に伝えてみましょう。

「ありがとう」は、相手のことを思ったときに湧いてくる気持ちであり、伝え合うことでお互いに尊重し合える豊かな人間関係を育むことにつながります。皆さんも「ありがとう」の気持ちを言葉や表情、態度などで相手に伝えてみましょう。

も挑戦しようとする気持ちがある地域づくりを進めると思っています」と話されました。

また、12月7日、ガレリアかめおかでは、「出会い・発見・共生 人権を考える第32回女性集会」を開催します。人事育成コンサルタントの辛淑玉さんが「仕事も愛も人生も自分流ワークライフバランスを」と題して講演されるほか、参加者が5つの分科会に分かれ、テーマごとに人権について話し合いを行います。

「出会い・発見・共生 人権を考える第32回女性集会」を開催します。人事育成コンサルタントの辛淑玉さんが「仕事も愛も人生も自分流ワークライフバランスを」と題して講演されるほか、参加者が5つの分科会に分かれ、テーマごとに人権について話し合いを行います。

手話コーラス



私たちが参画しました



法務大臣表彰受賞
人権擁護委員
古谷弘志さん
(保津町)



ゆう・あいフォーラム2014
企画運営委員会 委員長
石山耐子さん
(稗田野町)

小学校で子どもたちに絵本の読み聞かせをする活動を10年以上続け、ワークショップを開くようになり、企画運営委員としてフォーラムに携わるようになりました。委員になってからは意識が変わり、思っていた以上に言葉にはならなかった人権や、男女共同参画について深く考えるきっかけとなり、身近な人にも伝えたいと思うようになりました。

男女共同参画については、もっと広める必要があります。今年のノーベル平和賞を受賞されたパキスタンのマララ・ユスフザイさんは強く女性の教育を受ける権利を主張されています。ぜひ一度、著書を読んでほしいと思います。これからは男女共同参画社会の実現を目指し、日常生活の中でも行動や発信へとつなげていきたいと思っています。

人権擁護委員や地域の同和対策などに20年以上関わっています。長年続けてきた活動を評価いただき、今年10月に法務大臣表彰を受賞しました。駅前などで行う街頭啓発活動は、学校への働きかけなどを続けることで、今では市内すべての8中学校の生徒たちも一緒に参加して行うようになりました。生徒たちが配る啓発チラシは、多くの通行人たちが手に取り、応援の声もかけてくださるので、子どもたちもやりがいを感じているのをうれしく思っています。ヒューマンフェスタ2014では、人権メッセージカードや人権に関する相談コーナーを設置し、これまでの活動の成果を生かすことができました。今後も、人権の大切さを広く知ってもらいたいと願っています。